



## ローカル認証および許可の設定

- [ローカル認証および許可の設定方法](#) (1 ページ)
- [ローカル認証および許可のモニタリング](#) (3 ページ)
- [ローカル認証および許可の機能履歴](#) (3 ページ)

## ローカル認証および許可の設定方法

### スイッチのローカル認証および許可の設定

ローカルモードでAAAを実装するようにスイッチを設定すると、サーバーがなくても動作するようにAAAを設定できます。この場合、スイッチは認証および許可の処理を行います。この設定ではアカウント機能は使用できません。



**Note** AAA方式を使用してHTTPアクセスに対しスイッチのセキュリティを確保するには、**ip http authentication aaa** グローバル コンフィギュレーション コマンドでスイッチを設定する必要があります。AAA認証を設定しても、AAA方式を使用したHTTPアクセスに対しスイッチのセキュリティは確保しません。

ローカルモードでAAAを実装するようにスイッチを設定して、サーバーがなくても動作するようにAAAを設定するには、次の手順を実行します。

#### Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<b>enable</b> <b>Example:</b> Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"><li>• パスワードを入力します (要求された場合)。</li></ul>

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	<b>configure terminal</b> <b>Example:</b> <pre>Device# configure terminal</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>aaa new-model</b> <b>Example:</b> <pre>Device(config)# aaa new-model</pre>	AAA をイネーブルにします。
ステップ 4	<b>aaa authentication login default local</b> <b>Example:</b> <pre>Device(config)# aaa authentication login default local</pre>	ローカル ユーザ名データベースを使用するログイン認証を設定します。 <b>default</b> キーワードにより、ローカルユーザデータベース認証がすべてのポートに適用されます。
ステップ 5	<b>aaa authorization exec default local</b> <b>Example:</b> <pre>Device(config)# aaa authorization exec default local</pre>	ユーザの AAA 許可を設定し、ローカルデータベースを確認して、そのユーザに EXEC シェルの実行を許可します。
ステップ 6	<b>aaa authorization network default local</b> <b>Example:</b> <pre>Device(config)# aaa authorization network default local</pre>	ネットワーク関連のすべてのサービス要求に対してユーザ AAA 許可を設定します。
ステップ 7	<b>username name [ privilege level] { password encryption-type password}</b> <b>Example:</b> <pre>Device(config)# username your_user_name privilege 1 password 7 secret567</pre>	<p>ローカル データベースを入力し、ユーザ名ベースの認証システムを設定します。</p> <p>ユーザごとにコマンドを繰り返し入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>name</i> には、ユーザー ID を 1 ワードで指定します。スペースと引用符は使用できません。</li> <li>• (任意) <i>level</i> には、アクセス権を得たユーザーに設定する権限レベルを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。レベル 15 では特権 EXEC モードでのアクセスが可能で</li> </ul>

	Command or Action	Purpose
		<p>す。レベル 0 では、ユーザ EXEC モードでのアクセスとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>encryption-type</i> には、暗号化されていないパスワードが後ろに続く場合は 0 を、暗号化されたパスワードが後ろに続く場合は 7 を指定します。</li> <li>• <i>password</i> には、ユーザーがスイッチにアクセスする場合に入力する必要のあるパスワードを指定します。パスワードは 1 ～ 25 文字で、埋め込みスペースを使用でき、<b>username</b> コマンドの最後のオプションとして指定します。</li> </ul>
ステップ 8	<p><b>end</b></p> <p><b>Example:</b></p> <p>Device (config)# <b>end</b></p>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>

## ローカル認証および許可のモニタリング

ローカル認証および許可の設定を表示するには、**show running-config** コマンドを特権 EXEC モードで使用します。

## ローカル認証および許可の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	ローカル認証および許可	ローカルモードで AAA を実装するようにデバイスを設定すると、サーバがなくても動作するように AAA を設定できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。